

## 報告 2

### 天理市地域公共交通計画の策定について

平成 31 年 3 月に策定した天理市地域公共交通網形成計画は、令和 5 年度をもって計画期間の終了を迎えます。

本事業では、次期計画として地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に対応した形式に改定するとともに、再編後の地域の公共交通の実態を把握し、移動ニーズに応じた交通サービスの実現を目指します。

令和 5 年 7 月には市内の事業所へアンケート調査をおこない、同年 8 月には交通事業者へのヒアリング調査をおこないました。調査結果は報告資料のとおりです。

報告資料番号 4：関連施設アンケート調査・交通事業者ヒアリング調査について

報告資料番号 5：地域公共交通に係る問題点と課題

関連施設アンケート調査・交通事業者ヒアリング調査について

1. 調査の目的

○「天理市地域公共交通計画」の策定に際し、具体的な施策や事業の検討に反映するとともに、それぞれの役割を明確化することで計画の実効性を高めることを目的とする。

2. 調査方法

○関連施設を対象としたアンケート調査等・交通事業者を対象としたヒアリング調査を実施する。

3. 調査対象及び調査内容

	調査対象		調査内容
アンケート調査 ：関連施設	大規模事業所	1 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・来客状況</li> <li>・ 外来者・来客・従業員等の交通手段</li> <li>・ 公共交通への要望</li> <li>・ 公共交通全般に関する意見 等</li> </ul>
	医療施設	2 施設 ※ 1 施設辞退	
	商業施設	4 施設	
	観光施設	1 施設	
ヒアリング調査 ：交通事業者	鉄道事業者	2 社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用状況</li> <li>・ 事業を継続するための取組</li> <li>・ 施設及びその周辺の状況</li> <li>・ その他事業の状況</li> <li>・ 公共交通全般に関する意見 等</li> </ul>
	バス・コミバス 運行事業者	1 社	
	タクシー・デマンド 交通運行事業者	1 社	

4. アンケート調査結果：関連施設

4. 1. 大規模事業所

従業員の 交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用車が半数以上を占めるものの、路線バスの利用も 2 割を占める。</li> <li>・ 駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> </ul>
来訪者の 交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車の利用が 8 割を占めるものの、路線バスの利用も 2 割を占める。</li> <li>・ 駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> </ul>

#### 4. 2. 医療施設

外来状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来者は、予約される方が半数以上を占める。</li> <li>・ 外来が多い時間は午前中。</li> </ul>
外来者の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通の利用割合は1割もない。</li> <li>・ 外来者の交通手段は施設によるが、自動車の利用が多い施設もある。</li> <li>・ 駐車場は整備されている状況にあり、駐車料金は無料である。</li> <li>・ 外来者が困っていることとして、独居の高齢者の通院のための交通手段が少ないとの意見がある。</li> </ul>
職員の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8割以上の職員が自動車を利用しているが、公共交通利用者も1割を占める。</li> <li>・ 職員専用の駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> <li>・ 職員が困っていることとして、職員の増加に伴う駐車場不足がある。</li> </ul>
送迎バスの運行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2施設と病院と鉄道駅を結ぶ送迎バスを運行しており、利用者も一定数存在する。</li> </ul>
公共交通への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療施設周辺の公共交通について困っていることとして、下山バス停及び山村町バス停発着のバスを医療機関の最寄りバス停まで延伸してほしいとの要望がある。</li> </ul>
公共交通全般に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足のない高齢者が増えてきたため、その方々の対応をお願いしたいとの意見がある。</li> </ul>

#### 4. 3. 商業施設

来客状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日・休日とも、コロナの影響により来客数が減少している施設が多い。</li> <li>・ 来客形態は、コロナの影響なく、施設によってさまざまである。</li> <li>・ 来客の多い時間は、施設によってさまざまであるが、午前中か夕方である。</li> <li>・ 来客の交通手段は、4割以上が自動車であり、次にその他（自転車・徒歩のみ）である。公共交通での来客はほとんどない。</li> </ul>
従業員の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用車の利用が6割以上を占める施設がある一方で、その他（自転車・徒歩のみ）が7割を占める施設もある。</li> <li>・ 公共交通の利用は多くても1割程度である。</li> </ul>
来客・従業員の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すべての施設において、駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> <li>・ 交通手段の困りごととして、駐車場での高齢者の交通事故、特売日の交通渋滞がある。</li> </ul>
公共交通への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業施設周辺の公共交通について困っていることとして、コミバスだけではなく、路線バスを運行してほしいとの要望がある。</li> <li>・ 公共交通を利用してもらうために必要なこととして、タクシーの確保、運賃を安く設定、高齢者の移動手段の確保がある。</li> </ul>
公共交通全般に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の移動手段の確保の意見がある。</li> </ul>

#### 4. 4. 観光施設

来客状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日・休日ともお昼の来客が多い。</li> <li>・ 交通手段は自動車が8割を占め、公共交通の利用が2割を占める。</li> <li>・ 駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> </ul>
従業員の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場が整備されており、駐車料金は無料である。</li> </ul>
公共交通全般に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光施設をAIデマンド交通の乗降場に設定してほしいとの意見がある。</li> </ul>

5. ヒアリング調査結果：交通事業者

5. 1. 鉄道事業者

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期がすべての駅において半数以上を占める。</li> <li>・行楽シーズンは山の辺の道のハイキング利用が多い。</li> </ul>
鉄道事業を継続するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけコストを抑えて利便性を維持できるようなサービスを行っている。</li> <li>・多機能トイレや車いすスペース、多言語放送装置が設置されている新車両を導入している。乗務員がタブレットを用いて翻訳を行っている。</li> <li>・鉄道事業者が発行するパンフレットで山の辺の道のハイキング等の紹介をしている。</li> <li>・鉄道事業者単独での取組には限界があり、行政・市民・事業者が一丸となって利用者増加に向けての機運を高めていく必要がある。</li> </ul>
鉄道駅の設備の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天理市と協力して鉄道駅のバリアフリー化やレストランの設置を行っている。</li> <li>・鉄道駅の無人化に伴い、非常通報装置の設置を計画している。</li> </ul>
鉄道駅周辺の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅によっては道が狭く、鉄道駅とバス停が離れている。</li> <li>・鉄道駅近くの公衆トイレの洋式化の要望がある。</li> <li>・鉄道が遅延した際、市営自転車等駐車場の営業時間に間に合わず、自転車が利用できないと利用者から意見がある。</li> <li>・不法駐輪のある駅がある。</li> </ul>
その他事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や地元団体等と連携して、住みたいまちとなるような施策の実施、地域の活性化や鉄道利用を促進するイベントを実施していきたいと考えている。</li> <li>・沿線のお出かけを促進するためのお得な切符の販売などを新たに検討している。</li> <li>・人手不足の対応として、機械やネットで切符を買えるようにし、人でしかできない業務に人を充てていきたい。</li> </ul>
公共交通全般に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行本数が少ないため、二次交通との乗り換えしやすさが重要である。</li> <li>・鉄道に他の交通手段が合わせてダイヤ改正を行う。</li> </ul>

5. 2. バス・コミバス運行事業者

利用状況	<p>&lt;路線バス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの家や大規模事業者、高校を目的地とする利用者が多く利用している。</li> </ul> <p>&lt;コミバス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西部線は、イオンタウンを目的とした買い物利用が多く、高齢者、障がい者が多く利用している。</li> <li>・東部線は、学生・地元住民の利用が多い。時々、石上神宮や天理ダムへの団体利用がある。コミバスと路線バスをコミバスに一元化したことによる影響はほとんどなかった。</li> </ul>
バス事業を継続するための取組	<p>&lt;路線バス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が利用してもらわなければ事業として継続が難しい。</li> <li>・サイクルアンドライドの取組をしているが、天理市内には設置していない。</li> </ul>
天理市内のバス路線や停留所の状況	<p>&lt;路線バス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況に応じて運行本数を見直す予定である。</li> </ul> <p>&lt;コミバス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天理駅の停留所は1回で停車することができず、後進する必要があるため、危険である。停留所が色褪せており、見にくくなっている。</li> </ul>
その他事業の状況	<p>&lt;路線バス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員確保のために、運賃改定等を行い、増えた原資で乗務員の賃上げを行い、労働条件を改善していくことを考えている。</li> </ul>
公共交通全般に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の公共交通で活かされるかたちでAIデマンド交通を導入してほしい。</li> <li>・路線バスの運行が厳しい地域は、AIデマンド交通の導入を検討してほしい。</li> </ul>

5. 3. タクシー・デマンド交通運行事業者

<p>利用状況</p>	<p>&lt;タクシー・デマンド交通共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中は高齢者が病院に行くための利用がほとんどである。その他は買い物のための利用である。</li> </ul> <p>&lt;タクシー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工透析を必要とする方は1週間に3回病院に行く必要があり、県内の各病院への配車予約があるため、最優先で配車している。観光客よりも住民の利用が多く、主に病院と介護のために利用している。</li> </ul> <p>&lt;デマンド交通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が学校帰りに乗車するケースが見られる。行きは親に送ってもらい、帰りはデマンド型乗合タクシーを利用していると思われる。</li> </ul>
<p>タクシー事業を継続するための取組の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員不足は、全国ハイヤー・タクシー連合会でも最大の課題となっている。このため、乗務員が安定した給与をもらえるように、基本給の導入を検討している。</li> <li>・タクシーは認可運賃であるため、新運賃への改定を申請するためには一定の条件をクリアする必要がある。その条件の改善を希望している。</li> </ul>
<p>運行状況</p>	<p>&lt;タクシー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の普及前は専用電話からの配車依頼が戦力であったが、今はほとんどが携帯電話からの依頼であり、専用電話の利用は下火である。病院では携帯電話が使用できないため、専用電話の設置の必要性はある。</li> <li>・救急で病院に運ばれた際、朝までタクシーがないから帰れない、という声は聞いている。但し、行政から奈良県のタクシー協会に、タクシー事業者による当番制での深夜対応の依頼があり検討中であるものの、どこが費用負担をするかで議論が止まっている。</li> </ul> <p>&lt;デマンド交通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西エリアは利用者が多いものの、国道24号の渋滞も相まって所要時間を要する</li> </ul>
<p>その他事業の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両を更新していきたいが、費用の関係により数が足りていない。</li> </ul>
<p>公共交通全般に関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIデマンド交通と一般タクシーの役割分担をしっかりと欲しい。現在のデマンド交通は天理市内中心部と東西南北エリアの輸送が大原則のもと、運行されている。市内のどこでもAIデマンド交通で輸送可能となると、既存のバス事業者やタクシー事業者がなくなってしまうのではないかと危惧している。</li> <li>・デマンド交通を便利にしすぎるとタクシーに勘違いされてしまう問題がある。あくまでも「乗り合い」であり、タクシー車両を使用しているものの、タクシーとは仕組みが異なることを利用者に周知する必要がある。</li> <li>・AIデマンド交通は、AIが運行できると判断すると配車されてしまうため、乗務員の負担が大きい。</li> </ul>